

児童デイサービスまんなま カリキュラム概要

デイサービスを利用するにあたり、**一人一人のお子さんにあった年度目標(個別支援計画)を保護者との話の中で**たてます。
 ※下記の概要にある年齢・学年はイメージです。利用者さんの目標によって取り組む課題も個別化されます。

	能力	活動・スキル	児童発達支援事業				放課後等デイサービス							目標			
			2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	中学生		高校生		
ライフスキル	運動機能	手遊び															○自立した行動
		模倣あそび															
		道具を使つての食事															
		排泄トレーニング															
	社会性	全身運動															○他者に興味をもつ
1体1での道具を使つたあそび																	
学問的スキル	(受信) 読み取る力 聞く 読む 見る	絵カードマッチング															○情報を読み取る力
		単語カードマッチング															
		パズル															
		楽しむ読書															
	(発信) 話す 書く 伝える力	文学															○情報を伝える力
		指先を使う練習															
		カード読み上げ															
		なぞり															
		線引き															
		プリント課題															
コミュニケーションスキル	(受信) 総合力	宿題															○情報を交換する力 ○集団としての機能を発揮できる力
		感情の表出															
		ルールのある遊び															
		ディベート															
		買い物体験															
	行動スキル	外あそび															
		工作															
		体操教室															
		ダンス・ストレッチ															
		卓球教室															
英語であそぼう																	
創作活動																	

『年度目標』 事業所が作成する個別支援計画には1年間に達成できると期待されることを記したものを。年度目標には、**状況、行動、目標内容、評価基準**が含まれています。

- 状況**・・・利用者が全力を発揮できると考えられる環境について述べます。
- 行動**・・・利用する中で観察できた行動を明細に述べ、測定可能な動作(書き、読み、計算、反応、理解への示し方など)について正確に述べます。
- 目標内容**・・・教え方、評価の際の主な問題への対応の仕方と何を学習するのかについて示します。
- 評価基準**・・・目標の測定評価基準を確立させます。

目標を設定する意義

「将来どんな人になって欲しい?」の質問を最後にしています。将来と一緒に想像し、「では現在はこんなことを頑張ってもらいたいね」と細かな目標(短期目標)をたてることできています。"将来を見越した上で現在必要な力を身につけてもらう"支援員が意識して子どもと関わる中で大切にしているポイントです。

メロディーのデイサービスを利用することで